

# 令和5年度 府中市立小柳小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

## 第1学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助詞「は」「を」「へ」の理解が不十分である。</li> <li>・文章をスムーズに読むことができない。</li> <li>・自分の考えを表現することに大きな差がある。そのため、考えを交流できる児童が限られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の文章の中の助詞の使い方に着目させる。児童の書いた文章の中に誤った使い方があった際には、その都度、指摘・指導する。</li> <li>・文章を自分の力で読む練習をするとともに、範読を聞いて、言葉の意味やまとまりを意識した読み方も練習する。音読は毎日宿題とする。</li> <li>・話す順序を確認しながら、互いに伝わるような話し方を徐々に身に付けさせる。</li> </ul>	B	
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10までの加法と減法の計算の習熟が不十分。</li> <li>・個数や順番を正しく数えることが不十分。</li> <li>・計算の仕方などを自分の言葉で説明することに関しては、まだまだ今後練習が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・eライブラリを活用するなどして、1けたの数の計算など、繰り返しの学習の中で基礎・基本の計算力や数の概念の定着を図る。</li> <li>・計算の仕方や考え方を示す時のキーワードとなる言葉を繰り返し確認・共通理解し、より多くの児童が活用できるようにする。</li> </ul>	B	
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の中で抱いた疑問や気付き、驚きに対して、「どうしてこのようになるのか」「もっと知りたい」という気持ちが弱いように感じる。</li> <li>・気付いたことを表現する際に、どのように表現すればよいのか、表現方法が分からずに戸惑う児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の疑問や気付きに対して、より深い観点や違う視点をもつことができるような声かけを教師が心がける。そこから、問題の解決や、気付きを深める学習となるようにする。</li> <li>・感動や発見を表現している児童の姿を広めるとともに、この場合にはこのように表現する方法があるということを知らせる。</li> </ul>	B	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌声の音量には差がある。自信をもつてのびのびと歌えるようになってほしい。</li> <li>・けんぱんハーモニカでは、タンギングが弱い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞の意味を確認し、イメージを共有することで、楽しくのびのびと歌えるようにする。</li> <li>・発声練習や腹式呼吸の練習を取り入れ、歯切れよくタンギングできるようにする。</li> </ul>	B	
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道具の使い方を学び、基礎の定着を図っているところである。</li> <li>・創作への意欲や、創意工夫は見られるので、交流や鑑賞を通して児童全体の表現力の向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な素材を使った様々な表現技法を学び、それらを組み合わせて、発想豊かに表現を楽しめるようにする。</li> <li>・互いの良さを伝え合うような鑑賞の時間をもつ。</li> </ul>	B	
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力に個人差がある。</li> <li>・感染症対策の中で乳幼児期を過ごした児童なので、全体的に体を動かすことやゲーム形式の活動に対する経験が乏しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎体力をつけるために、楽しく取り組むことのできる準備運動や、本時の学習活動に合わせた導入活動を工夫する。</li> <li>・体の使い方や技のポイントを個別に伝える時間を作り、できることが増えると楽しいという経験をさせる。</li> </ul>	B	

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

# 令和5年度 府中市立小柳小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

## 第2学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容の大体を押さえて話したり聞いたりすることが難しい。</li> <li>・正しく視写する力、既習学習を生かす力が弱い。</li> <li>・語彙の数や意味の理解が不十分で、文章の読み取りが浅く、登場人物の心情に迫ったり、大事なことを抜き出したりすることが容易ではない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表原稿の使い方や文の事柄の順序を考える組み立て用のワークシート、スピーチカードを活用した発表活動を毎日行う。</li> <li>・ポイントを押さえた指導法や教師等による個別指導を行い、視写する力を高める。漢字や言語活動（活用方法や語彙の習得）を反復練習させる。</li> <li>・読書活動を活用する。読解単元では、大事な言葉や表現を落とさぬように、最初は教師と共に拾い、慣れてきたら児童同士でできるように指導をする。</li> </ul>	C	
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数の構成が不十分で、加法減法がスムーズにできない。</li> <li>・単位換算や数量の理解が不明確である。</li> <li>・手先の巧緻性に差があり、作図にムラがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習や隙間時間を活用し、本単元に関連する前学年の振り返り学習を取り入れ、学習理解を高める。特に、苦手意識のある単元や学習については、eライブラリを活用し、反復学習を行って定着を図る。</li> <li>・遊び感覚の学習を取り入れ、作図に生かす。</li> </ul>	B	
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題を追究してまとめる経験が浅い。</li> <li>・課題を追究する手立てやそれらをまとめる力が弱い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初は教師が引き、課題を全体に投げかけ、学習課題を追究する目を養うために、学習課題に沿った図書資料を提示したり、経験（まち探検やインタビュー、講話）をもとにして学習課題を解決したりできるようにする。</li> <li>・まとめ方や書き方の工夫を提示し、児童が参考にしながら活動できるようにする。</li> </ul>	B	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞した感想を言葉や身体などで表現することが難しい。</li> <li>・音や拍を取ることが苦手な児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞の際の表現の工夫や言葉の工夫を提示し、児童が参考にしながら学習できるようにする。</li> <li>・ゲーム的な要素を取り入れた活動を挟み、楽しみながら技能を習得させる。</li> </ul>	B	
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手先の巧緻性が低い。</li> <li>・事物を模写する力が低い。</li> <li>・想像を膨らませて表現する力が乏しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手先を使った活動を多く取り入れ、道具の使い方や指先を使った技能を高めさせる。</li> <li>・一つ一つの事物の特徴を全体で捉えさせ、それを模写する際の技法を指導する。</li> <li>・学習課題の完成を想像できるように、参考作品を提示したり、その技法や表現の工夫を丁寧に指導したりする。</li> </ul>	B	
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力に個人差がある。</li> <li>・種目によって、主体性の表れが異なり、全体的にムラがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎体力をつけるために準備運動や本時の学習活動に合わせて導入の活動を工夫する。また、基礎体力向上に有効的な活動を紹介し、日常的に取り組ませる。</li> <li>・活動の導入を工夫したり、児童同士で助言し合いながら取り組む時間を設けたりして、できるようになった喜びを実感させる。</li> </ul>	B	

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

# 令和5年度 府中市立小柳小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

## 第3学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語彙、漢字の読み書きの能力に個人差が大きい。</li> <li>・「読むこと」について、短くまとめること、情景を思い浮かべることが難しい児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語彙力を高めるための調べ学習（辞書・図書資料・ICT活用）を多く取り入れる。</li> <li>・読みの学習では、課題をもち、文章全体を主体的に読み進めるようにする。</li> <li>・要点を理解して短くまとめる活動を設定する。</li> </ul>	B	
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎基本（計算）の定着に個人差が大きい。</li> <li>・答えを導き出す道筋（自分の考え）を図や式、言葉など既習内容を用いて表現することが難しい児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎・基本の学習が定着するために、授業後半や家庭学習で計算練習を取り入れ確実に計算できるようにする。</li> <li>・課題を正確に捉え、自分の考えを図や式で表現できるようにする。</li> </ul>	C	
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な知識の定着に個人差が大きい。</li> <li>・観察や実験は意欲的に行えるが、観察での気付きや考察したことを具体的に表現できる児童が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・eライブラリを用いて、個人の課題を把握し、それぞれに合った問題に取り組ませるようにする。</li> <li>・問題解決型学習で、問題を明確化、計画をたてて観察・実験を行い、結果から考察したことを表現したり、実感を伴った理解を図れたりするようにする。</li> <li>・主体的に学べるように児童の気付きから学習問題を作り出していく。</li> </ul>	B	
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な知識の定着に個人差が大きい。</li> <li>・学習問題を理解し、学習を通して考えをもち、考えをまとめることが難しい児童が複数いる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・eライブラリを用いて、個人の課題を把握し、それぞれに合った問題に取り組ませるようにする。</li> <li>・問題解決型学習で、問題を明確化した上で、見通しをもてる学習計画をたて、実際に見たものや調べたものから、考えを見だし、まとめられるようにする。</li> <li>・ICTを活用して問題解決学習に取り組んでいく。</li> </ul>	B	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然で無理のない発声や、楽器の基本的な奏法が定着していない児童がいる。</li> <li>・自らの思いや意図を音楽表現に生かすことが十分ではない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スモールステップでの学習展開をしたり、学習形態を工夫してくり返し学習したりしながら、音楽表現の基礎的な技能の定着を図る。</li> <li>・児童が聴き取ったことや感じ取ったこと、また表現に対する思いや意図を大切に、楽しみながら学習を進め、主体的に学習に取り組むことができるようにする。</li> </ul>	B	
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・題材のテーマから発想を広げにくく、息詰まる児童がいる。</li> <li>・道具をうまく扱うことができない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動を始める前に何人か意見を発表してもらい板書でまとめることで、発想のヒントになるような工夫を行っていく。</li> <li>・作品作りの活動として使う前に、使い方や使うときの姿勢を復習するようにする。</li> </ul>	B	
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動に意欲的ではあるが、自分の課題を意識して取り組んでいる児童は少ない。</li> <li>・自分のチームの動きを客観的に捉えることが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体を動かす心地よさを味わうとともに、自分の課題を意識して取り組ませる。</li> <li>・チームやグループでの活動を通して、見合える環境を意図的に作り、教え合いができるようにする。</li> <li>・集団行動を通して安全に対する意識を培う。</li> </ul>	B	

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

# 令和5年度 府中市立小柳小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

## 第4学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語彙が少ない。学年相応の漢字を書くことが定着していない。結果、自分の思いを言葉にしたり、書いたりすることが苦手な児童がいる。</li> <li>・自分の考えをもつことできなかつたり、友達の話を聞いて違いに気付くことができなかつたりする児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語彙力を高めるために、辞書・図書資料などを多く取り入れた学習を行う。</li> <li>・読みの学習では、精読をさせて理解を深めさせるとともに、課題に即した自分の考えや思いをもって対話させることで読みを深めさせる。</li> </ul>	B	
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗法や除法の計算を正確に行うことを苦手とする児童がいる。</li> <li>・垂直な直線や平行な直線などの作図を苦手としている児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・復習プリントや宿題、eライブラリ等で繰り返し学習する機会を設け、定着を図る。</li> <li>・児童の理解度を把握し、授業中の個別指導を充実させる。ペアやグループで教え合う学習を取り入れ、理解を確実にさせていく。</li> </ul>	B	
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予想は立てられるが、その理由をきちんと伝えることが苦手な児童がいる。</li> <li>・まとめを自分の言葉で書くことが苦手な児童がいる。</li> <li>・理科的な言い方を学ばせたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に学べるように児童の気付きから学習問題を作り出していく。</li> <li>・学習問題を明確にした上で観察・実験を行い、結果から考察したことを表現したり、実感を伴った理解を図れたりするようにする。</li> <li>・語彙については適宜指導していく。</li> </ul>	B	
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習したことを自分事として捉え、身近な生活に生かしていこうとすることには課題がある。</li> <li>・資料やグラフから必要な情報や事実を読み取ることを苦手とする児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な生活経験や既習事項を想起させながら、根拠ある予想や仮説を立てさせる。</li> <li>・資料やグラフの読み取り方を丁寧に教え、読み取る練習を積み重ねていく。</li> </ul>	B	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然で無理のない発声や、楽器の基本的な奏法が定着していない児童がいる。</li> <li>・自らの思いや意図を音楽表現に生かすことが十分ではない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌い方や楽器の奏法などの既習事項を様々な題材で活用し、くり返し指導しながら、基礎的な技能の定着を図る。</li> <li>・友達のよいところを見付けたり、意見を交流したりしながら、それらを自らの表現に生かしていくことができるように指導する。</li> </ul>	B	
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が作りたいものに集中していることはとても良いが、他の人の作品の良さに気付くことが少ない。</li> <li>・道具の使い方を間違えてしまう、または少し危ない使い方をしてしまう児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・題材のまとめの時間に限らず鑑賞の活動を取り入れることで、学び合いの時間を確保する。</li> <li>・高学年に向け、既習の道具の正しい使い方を再度確認し、基礎の定着を図るようにする。</li> </ul>	A	
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のイメージ通りに体を動かすことを苦手とする児童がいる。</li> <li>・体を支えることやある姿勢を保つことを苦手とする児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の動きを撮影し、動画や画像を見せて自分の動きを視覚的に捉えさせる。</li> <li>・鉄棒やバランスボール、平均台などを利用し、支持運動やバランスを取る運動をする機会を増やす。</li> </ul>	B	

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

# 令和5年度 府中市立小柳小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

## 第5学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字の読み書き</li> <li>言葉の理解、語彙</li> <li>自分の考えをもち、伝えること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字練習の定着を図る。</li> <li>辞書を使って語彙を増やす。</li> <li>話型を活用して自分の考えの根拠を明確にして相手に伝えることや、事実と感想・意見を区別すること、資料を活用して話すことを通して、互いの考えを深めたり広げたりできるようにする。</li> </ul>	B	
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎・基本の定着</li> <li>問題を解決するための考えをもつこと</li> <li>文章問題の読み取り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業初めにeライブラリなどを活用して計算問題に取り組ませる。また、家庭学習でもeライブラリを活用して基礎・基本の定着を図る。</li> <li>自己の考えを図や式にして表現し、考えを振り返り、まとめさせるようにする。</li> <li>文章のキーワードとなる部分にしるしを付けさせる。</li> </ul>	C	
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>実験方法、手順の意味理解</li> <li>条件制御の必要性を理解し、実験計画を立てる</li> <li>調べる方法の妥当性の理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>予想を基に調べる方法を他の条件の制御と合わせて発想する。</li> <li>問題解決の過程で条件を整理し、ノートにまとめていく。</li> <li>対話により理解を深める。</li> </ul>	B	
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎知識の定着</li> <li>資料の読み取り</li> <li>資料をもとに、まとめる力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>視覚的情報を使い、定着を図る。</li> <li>ICTも活用して、自分で設定した課題について調べ、まとめる等、探究的な学習に取り組んでいく。</li> <li>新聞作りやパンフレット作りなど、個人で選択し、考えを深め、それを表現するような活動を多く取り入れる。</li> </ul>	B	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然で無理のない発声や楽器の基本的な奏法が定着していない児童がいる。</li> <li>楽曲にふさわしい表現を工夫したり、自らの思いや意図をよりよい音楽表現に生かしたりすることが十分ではない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スモールステップでの学習展開や、既習事項の活用などを繰り返しながら、音楽表現の基礎的な技能の定着を図る。</li> <li>学習展開や発問を工夫しながら、楽曲にふさわしい表現の工夫などを考えさせ、音楽表現と結び付けたり、生かしたりすることができるようにする。</li> </ul>	B	
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>一つの活動で使う道具の数が増え、手順が分かりにくく活動が進まなくなる児童がいる。</li> <li>自分が作っているもの以外の作品の良さに気付かないことが多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>複数の道具や材料の扱いを一つの説明でまとめるのではなく、道具の数に合わせて説明と活動を分けることで行動しやすいように工夫していく。</li> <li>活動中にもグループや学級全体などでお互いの作品を鑑賞する機会を増やすことで、作品の良さに気付きながら主体的に活動できるようにする。</li> </ul>	B	
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活体験との結び付け</li> <li>裁縫の実技能力の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実践的、体験的な活動から生活を豊かにする工夫や楽しさ、喜びを体感させる。</li> <li>裁縫の知識や技能等を向上させるため、裁縫の基本となる玉結び、玉止め、並縫い等を繰り返し練習する時間を設ける。</li> </ul>	B	
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本の動き、技能の定着</li> <li>体の使い方、動かし方</li> <li>泳力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体を動かす楽しさとともに、友達と一緒に活動する楽しさを実感できるように活動を工夫し、基本的な動きや技能を身に付けさせる。</li> <li>ICTを使い、自分の動きを確認させる。</li> <li>水泳は自己の課題や目標を明確に意識させた上で個別の練習の機会を多く設定する。</li> </ul>	B	
外国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>アルファベットの書き取り</li> <li>語彙の意味理解</li> <li>リスニング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>繰り返し練習をすることで、アルファベットを楽しみながら使うことができるようにする。</li> <li>多くの語彙に触れさせる。</li> <li>外国語を聞く機会を多く設ける。</li> </ul>	B	

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

# 令和5年度 府中市立小柳小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

## 第6学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字の読み書きの能力に個人差がある。</li> <li>文章の役割を意識して読むことが苦手。</li> <li>記述式の問題で無回答が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的にミニテストを口述筆記で行う。文章で漢字を書くようにし、日常で使える力にしていく。</li> <li>文章構成図や文章構造図を用いて、文章の役割を理解していく。</li> <li>振り返りや自分の考えを短文で書く活動に日常的に取り組む。</li> </ul>	B	
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習事項の定着に差がある。</li> <li>基礎力があっても、思考力や活用力を要する問題が苦手な児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎・基本の学習内容を、eライブラリを活用して定期的に振り返り、理解の定着を図る。</li> <li>既習事項の確認のための問題に取り組ませ、自分の課題を確認し、解決できる力を養う。</li> <li>問題解決的な学習に取り組み、児童同士の対話を通して思考力や活用力の向上を目指す。</li> </ul>	B	
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>考えを持つ手立て</li> <li>予想に対して根拠を明確にする</li> <li>自分の考えを表現する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交流の時間を多くし、友達の考えに触れる機会をもたせる。</li> <li>事象や現象に対して課題意識をもち実験の方法を考えさせる。</li> <li>問題を振り返り、結果と照らし合わせて自分の言葉でノートに表現させる。</li> </ul>	B	
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>図や表を読み取ることができているが、自分の言葉で表現することが難しい。</li> <li>社会情勢や歴史上の人物に関心のある児童に偏りがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習したことをもとに改めて自分でまとめ直す機会を設け、理解を深めさせる。</li> <li>新聞の切り抜きなど、授業以外でも社会情勢や歴史上の人物などに関する話題を取り上げる。</li> <li>日常生活の中から歴史や政治の学習につながる題材を取り上げ、問題解決的に学習する。</li> </ul>	B	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然で無理のない発声や、楽器の基本的な奏法が定着していない児童がいる。</li> <li>楽曲にふさわしい表現を工夫したり、自らの思いや意図をよりよい音楽表現に生かしたりすることが十分ではない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発問や板書を工夫しながら学習を進め、既習事項の活用などを繰り返しながら、音楽表現の基礎的な技能の定着を図る。</li> <li>友達の演奏のよいところを見つけたり、意見を交流したりしながら、音楽表現を考え、個人や全体の表現に生かしていくことができるように指導する。</li> </ul>	B	
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>道具の扱いに関しては基礎が定着できているため、応用させる力を付けたい。</li> <li>自由に発想を広げにくい児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道具の使い方を再度確認し、自身が表現したいように表現するにはどんなことができるか考えながら活動することで主体的に学習に取り組むことができるようにする。</li> <li>グループで作品に意見を交わす時間を取り入れ「自分だったらこうしたい」を考える機会を増やす。</li> </ul>	B	
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>裁縫や調理など基礎的な能力に個人差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住居・衣服・調理に関する日常生活を送る上で必要な知識や技術を実生活の場面と結び付けながら身に付けさせる。また、身に付けた知識や技術を実生活において実践するように促す。</li> <li>保護者ボランティアを活用し、一人一人の能力に応じてサポートしながら実習する。</li> </ul>	B	
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>体力の低下</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>休み時間をはじめ日常的な運動を促す。</li> <li>縄跳び旬間や持久走旬間など、学級や学年で取り組む活動を設ける。</li> <li>自分の技術に応じた課題を見付け、各種の運動に積極的に取り組めるように、活動の場の設定を工夫する。</li> </ul>	B	
外国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>苦手意識がある児童は授業に主体的に参加することが難しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>振り返りを通して、自分にとって次に必要な技能や課題を見付けさせ、外国語を使ったコミュニケーションの技能を身に付けさせる。</li> </ul>	B	

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

# 令和5年度 府中市立小柳小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

## 仲よし学級における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語彙が少なく、自分の考えや気持ちを表現することが難しい。</li> <li>・相手意識をもって考えながら聞くことが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体物や活動を取り入れた語彙を学ぶ学習を行う。</li> <li>・読書の時間を大切にし、感じたことを自由に表現する場を設ける。</li> <li>・分からない語句をタブレットや国語辞典で調べたり、物語等で登場人物の気持ちを表す言葉を考えたりして語彙を増やしていく。</li> <li>・教師が相手の考えを分かりやすく伝えるなどの支援を行う。</li> </ul>	B	
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計算を実生活に生かすことができるようにしていきたい。</li> <li>・具体物や体験を概念として抽象化することに困難さがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活に即した場面を設定する。</li> <li>・具体物を操作する時間を設け、具体物→半具体物→抽象とスモールステップで概念を身に付けていけるようにする。</li> </ul>	B	
生活単元	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科で学んだことを実生活や実体験に一般化することに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習したことをお店屋さんのような体験的な活動にしたり、発表したりして日常生活につなげることができる場面を設定する。</li> </ul>	B	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽や相手の音を感じて演奏しようとする事ができる児童もいるが、合わせて演奏することが難しい児童もいる。</li> <li>・手先の不器用さや眼球運動の困難さから楽譜を見て音と対応させることが難しい場合もある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リズム遊び、友達の演奏を聴く時間などを通して楽しみながら音楽に注目するような活動を行う。</li> <li>・楽譜を指で追う、色分けした楽譜や楽器をつかうなどの方法により自分で活動できるようにする。</li> </ul>	B	
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のイメージを広げて作品を作ることが難しい児童がいる。</li> <li>・表現したいことがあるが、道具の操作が難しい児童もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手本や例を提示することで安心して楽しく作品作りに取り組めるようにするとともに、道具の正しい使い方を学べるようにする。</li> <li>・手本や手順を分かりやすく提示する。</li> </ul>	B	
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動に苦手意識があり、運動習慣がない児童が多い。</li> <li>・シンプルなルールの活動に積極的に取り組むことができる。</li> <li>・ボディイメージが十分ではない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容やルールを簡易化したものにし、苦手な児童や運動習慣のない児童でも参加しやすいものにする。</li> <li>・多様な動きを通して、体の動かし方（ボディイメージ）を高められるようにする。</li> </ul>	B	